

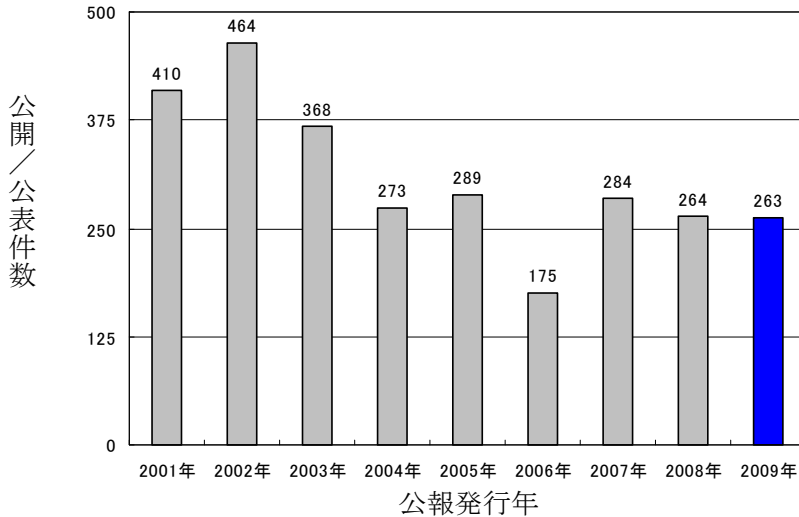
【フロンティア関連】

1. 日本におけるフロンティア分野の特許公開／公表・登録件数推移

(1) 公開／公表件数

2009年の年間公開／公表件数は263件で、前年の2008年264件と比較してほぼ同様の件数となっている(図1-1)。

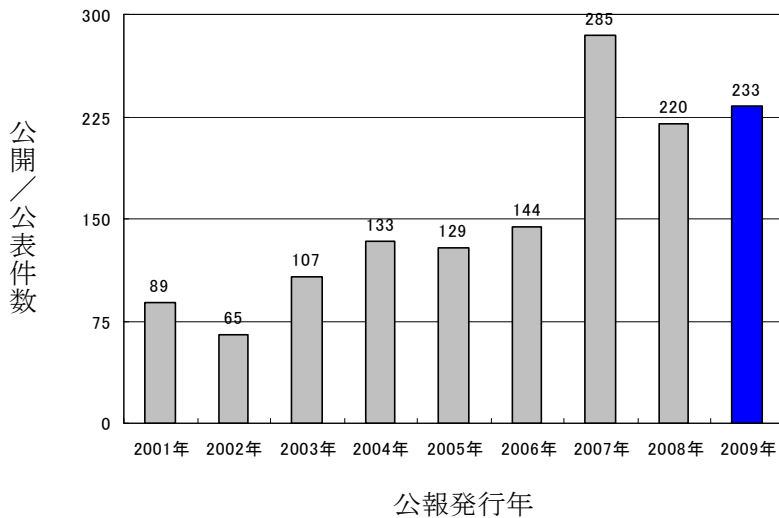
図1-1 フロンティア分野の公開／公表件数の年別推移(出願先:日本,2001年～2009年)



(2) 登録件数

2009年の年間登録件数は233件で、前年の2008年220件と比較すると6%増加している(図1-2)。

図1-2 フロンティア分野の登録件数の年別推移(出願先:日本,2001年～2009年)

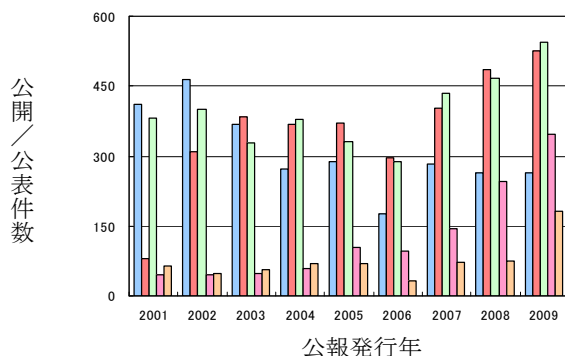


2. 日本、米国、欧州、中国、韓国におけるフロンティア分野の特許公開／公表・登録件数の比較

(1) 公開／公表件数

2009年の年間公開／公表件数は日本 263 件、米国 525 件、欧州 544 件、中国 347 件、韓国 181 件と欧州が最も多い。対前年の伸び率の比較では、米国、欧州及び中国はそれぞれ 8%、16%、42%増加しており、韓国は 141%増と前年より 2 倍以上の件数がみられる。(図 2-1)。

図 2-1 フロンティア分野の公開／公表件数の年別推移 (日、米、欧、中、韓,2001年～2009年)

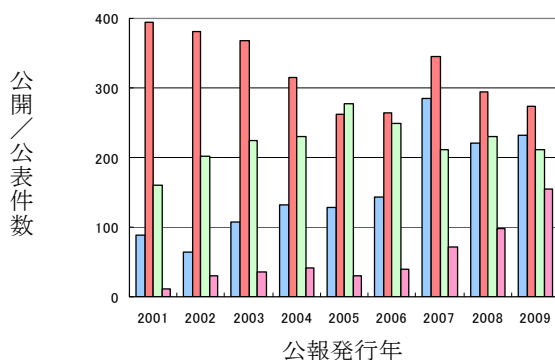


	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
日本での公開／公表	410	464	368	273	289	175	284	264	263
米国での公開／公表	80	310	384	368	370	296	403	485	525
欧州での公開／公表	382	399	327	380	331	287	434	468	544
中国での公開／公表	45	46	49	60	103	96	143	245	347
韓国での公開／公表	64	49	55	70	70	33	71	75	181

(2) 登録件数

2009年の年間登録件数は日本 233 件、米国 274 件、欧州 211 件、中国 154 件と米国が最も多い。対前年の伸び率の比較では、日本及び中国はそれぞれ 6%、56%増加しているが、米国及び欧州はそれぞれ 7%、9%減少している (図 2-2)。

図 2-2 フロンティア分野の登録件数の年別推移 (日、米、欧、中,2001年～2009年)



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
日本での登録	89	65	107	133	129	144	285	220	233
米国での登録	395	381	368	315	263	265	346	294	274
欧州での登録	161	201	224	231	277	250	212	231	211
中国での登録	12	30	35	41	30	39	71	99	154

3. 日本、米国、欧州、中国、韓国におけるフロンティア分野の研究区分別特許公開／公表・登録件数の比較

2009年5月～2010年4月に日本、米国、欧州、中国、韓国で公開／公表・登録されたフロンティア分野の研究区分別公開／公表・登録件数をみると、「宇宙」に比べて「海洋」の件数が圧倒的に多い（図3-1、図3-2）。

図3-1 フロンティア分野の研究区分別公開／公表件数
（日、米、欧、中、韓,2009年5月～2010年4月の合計値）

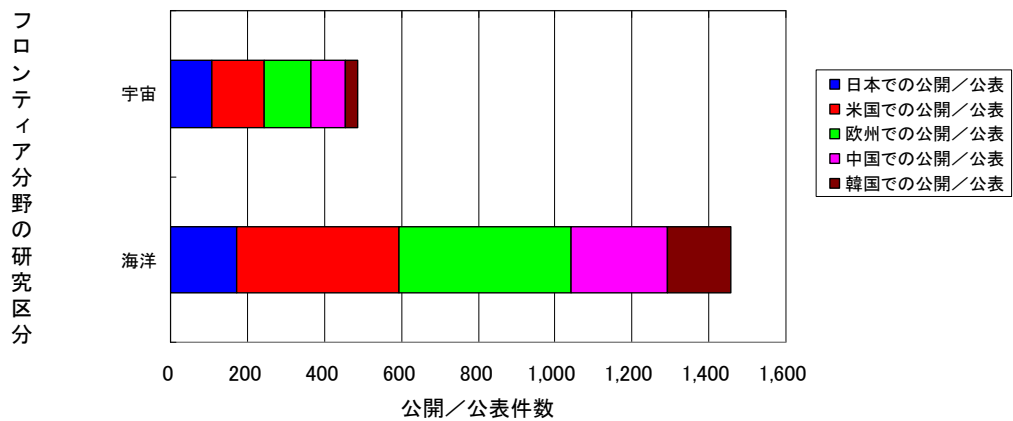
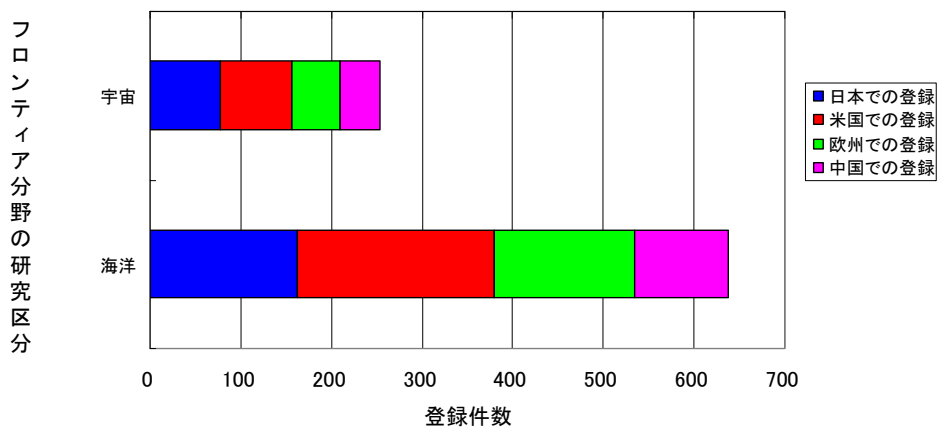


図3-2 フロンティア分野の研究区分別登録件数
（日、米、欧、中,2009年5月～2010年4月の合計値）



4. 日本、米国、欧州、中国、韓国におけるフロンティア分野の出願人国籍別特許公開／公表・登録件数の比較

2009年5月～2010年4月に日本、米国、欧州、中国、韓国で公開／公表・登録されたフロンティア分野の出願人国籍別公開／公表・登録件数をみると、日本、米国、欧州、中国、韓国について、それぞれ自国籍出願人の割合が多く、いずれの国・地域でも概ね60%以上を占めている（図4-1、図4-2）。

図4-1 フロンティア分野の出願人国籍別公開／公表件数

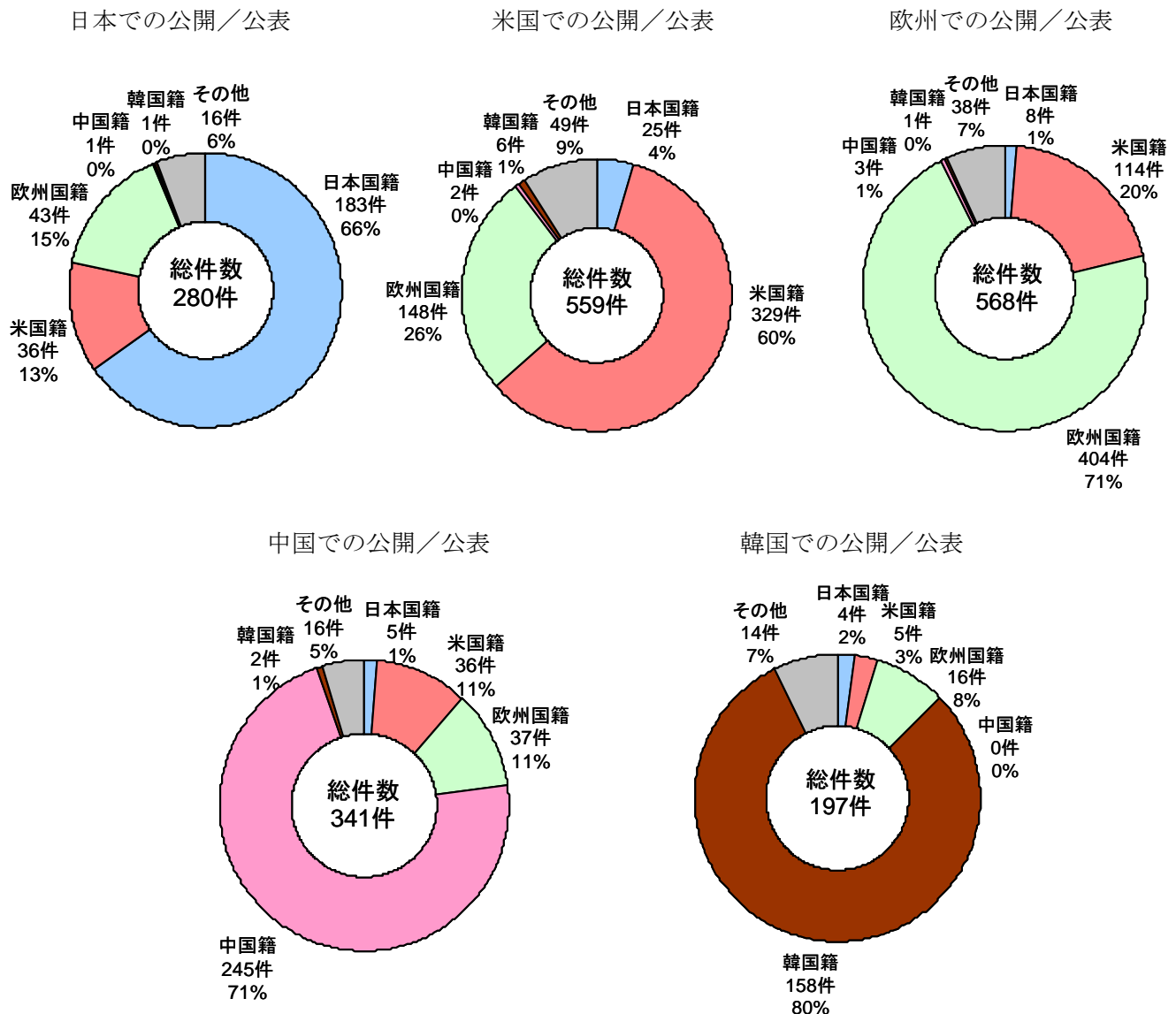
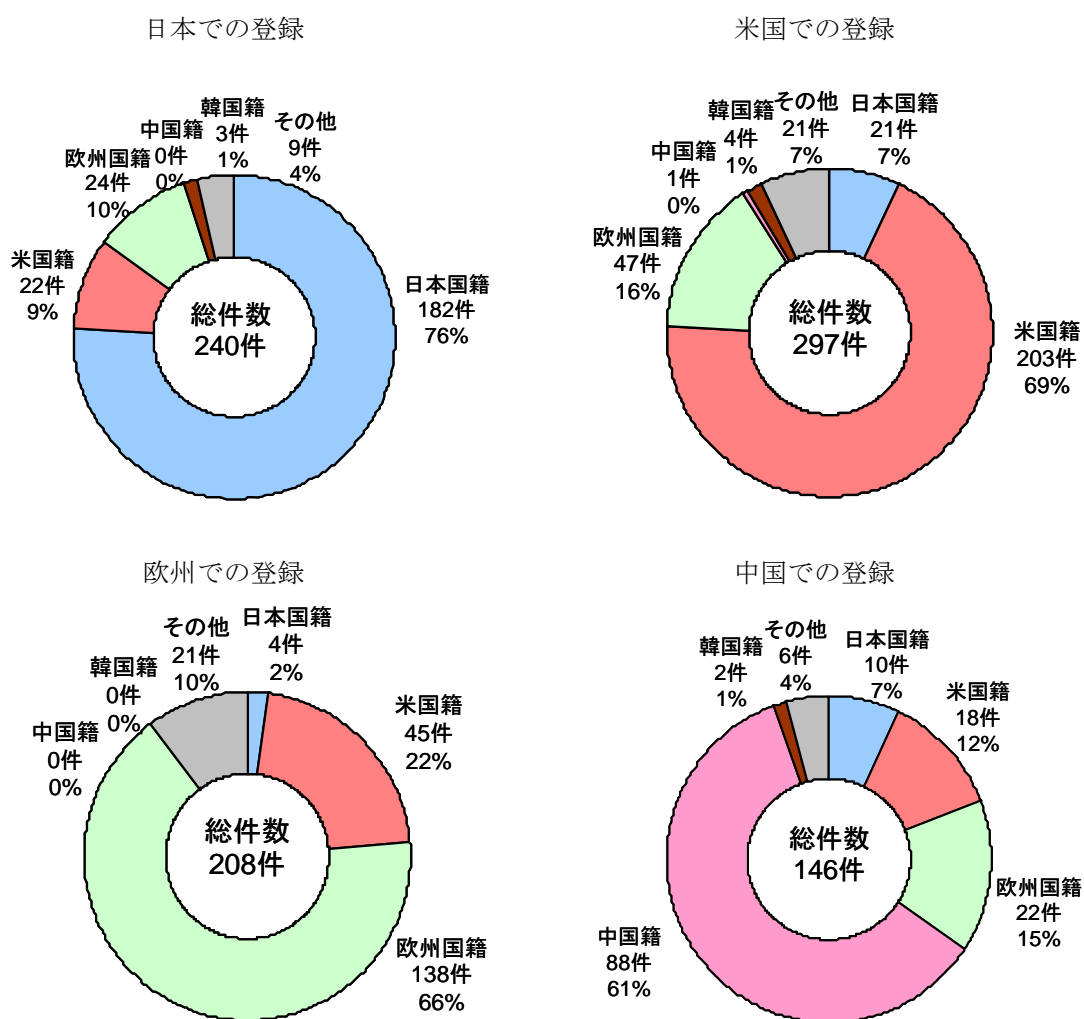


図 4-2 フロンティア分野の出願人国籍別登録件数



注：本調査における出願人国籍とは、最先優先権主張国を指す。

「その他」の値は、総数と日本国籍、米国籍、欧州国籍、中国籍、韓国籍の各出願人の合計値の差である。